

## 理事長就任のごあいさつ



鳥取県議会議長 鉄 永 幸 紀

皆様には、日ごろから、本県緑化の推進に格別のご理解・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本委員会は、昨年、設立10周年を迎えたところでありますが、その運営を取り巻く環境は、大きく変わって参りました。

本委員会は、設立以来、安心して住める緑豊かな郷土を次の世代に引き継ぐため、県・市町村のご理解・ご協力の下に、県民の皆様の善意による「緑の募金」などを主な財源にして、緑化の推進や青少年の環境教育の支援等に努めてきたところであります。

しかしながら、地方財政の逼迫に伴う県・市町村会費の減少や地方の景気低迷に伴う賛助会員の減少等のため、組織の運営が厳しくなり、緑化事業の主要財源である「緑の募金」も減少傾向が続く中で、組織のあり方を含めて対応策を検討することが喫緊の課題となっています。

また、県土面積の73パーセントを占める森林に目を向ければ、林業を取り巻く厳しい環境のため山村地域が疲弊して、森林の手入れまで手が回らない状況が続き、その有する多様な機能を十分に発揮できない森林も目につくようになって参りました。

一方において、温暖化や砂漠化の進行が地球環境の上から大きな国際問題となる中であって、森林や緑に対する期待は益々高まっています。

このような中で、鳥取県では、一昨年には森林環境を守り育てることを目的とした「鳥取県森林環境保全税」が、昨年からは企業による森林保全活動を支援する「とっとり共生の森」育成支援事業が創設されるなど、県民と連携した森林づくりが進められています。

本委員会と致しましては、新たな10年に向けて、県及び市町村のご理解・ご協力を得ながら、また、各種施策との連携を図りつつ、引き続き緑化の推進や青少年の環境教育の大切さを県民の皆様へ訴え、会員と「緑の募金」の拡大を図って組織基盤・緑化事業の充実に努めて参りたいと考えております。

皆様の、より一層のご理解とあたたかいご協力を心よりお願い申し上げまして、就任のごあいさつと致します。

## 第11回通常総会の開催

と き 平成19年2月20日(火)  
ところ 白兔会館「らいちょうの間」

第11回通常総会を、正会員115名のうち98名(実出席39名、委任状59名)の参加を得て開催しました。

山根英明理事長のあいさつに続いて、平成18年度に「緑の募金」に高額の寄附をいただいた鳥取三洋電機株式会社、エプソンイメージングデバイス株式会社鳥取事業所の2社に理事長からの感謝状を贈呈しました。

議長に鳥取県中部森林組合長森下洋一氏を選出し、議事録署名人に智頭町長織田洋氏、個人会員新見盛也氏を選任したのち、第1号議案平成18年度事業報告及び収支決算、第2号議案平成19年度事業計画(案)及び収支予算(案)、第3号議案定款の一部変更について、第4号議案諸規程の一部変更等について、第5号議案要綱の一部変更に係る委任について、第6号議案任期満了に伴う役員の選任について審議され、いずれも提案どおり可決承認されました。

今後とも、外部有識者等の意見をお聞きしながら、一層効率的、かつ適正な事業の実施に努めて参りますので、皆様の温かいご理解・ご協力をお願いします。



緑の募金高額寄附者への感謝状贈呈



議 事

### 役 員 の 皆 さ ん

(6月1日現在)

理 事 長	鉄永 幸紀	県議会議長	理 事	長井勇喜夫	県銀行協会長
副理事長	河原 正彦	県農林水産部長	理 事	中永 廣樹	県教育長
理 事	伊藤美都夫	県漁業協同組合長	理 事	馬場 俊明	日本海テレビ社長
理 事	井上 耐子	県連合婦人会長	理 事	森下 博	県山林樹苗協同組合理事長
理 事	高力 修一	県建設業協会長	理 事	山根 英明	県森林組合連合会長
理 事	坂本 昭文	県町村会長	理 事	吉岡 利固	新日本海新聞社社主
理 事	竹内 功	県市長会長	監 事	井上 幹雄	県造園建設業協会長
理 事	竹中 登	県農業協同組合中央会長	監 事	澤米 由己	県林業技術協会長

任期：平成21年2月20日



## 平成19年 緑の募金運動

### 募金運動期間

春期 平成19年3月25日(日)~平成19年5月31日(木)  
秋期 平成19年9月1日(土)~平成19年10月31日(水)  
募金目標額 2,800万円

森林や緑は二酸化炭素吸収源として地球温暖化の防止に役立っています。

森林や緑を守り育て、安全で住みよい循環型社会を実現するため、緑の募金運動に一人でも多くの皆様の温かいご協力をお願いします。

### 緑の募金キャンペーン

緑の募金運動を盛り上げるため、運動初日の3月25日には鳥取大丸・JR鳥取駅周辺で浜坂小学校・福部小学校みどりの少年団など、ジャスコ日吉津店では成実小学校・大山西小学校みどりの少年団などの方々のご協力により緑の募金街頭キャンペーンを行い、多くの皆様に緑の募金への協力を呼びかけていただきました。

また、中部地区では倉吉農業高等学校、倉吉北高等学校、倉吉市立北谷小学校、ボーイスカウト東伯第2団の方々に運動初日から4月上旬にかけて街頭募金活動を実施されました。



鳥取大丸・JR鳥取駅周辺



倉吉市内



ジャスコ日吉津店



谷口信夫さんより



財団法人 鳥取県体育協会より

琴浦町在住の樹医、谷口信夫さんより高額のご寄付を頂き又、財団法人鳥取県体育協会より鳥取県立布勢総合運動公園で開催された「緑の感謝祭」の収益の一部を御寄付いただきました。

## 平成18年の募金結果について

### ●募金特別会計の収支

収入内訳	金 額	摘 要	支 出 内 訳	金 額	摘 要
緑の募金	23,688,570	平成18年募金実績	森林整備等助成事業	4,477,741	森林の整備、緑化の推進、みどりの少年団の育成、喜寿記念樹の贈呈等
			緑化交付金事業	7,628,007	家庭募金等の5割を上限に募金団体へ交付し地域・学校等へ植樹等を行う。
そ の 他	5,900,359	平成17年繰越金等	募金資材	1,285,378	羽根、啓発資材、募金箱等の購入
			募金活動	2,261,054	テレビ、ラジオCM・懸垂幕・新聞・ポスター・チラシ等の広報
			推進費	445,115	緑の募金運営協議会開催、支部活動費
			中央負担金	1,340,000	社団法人国土緑化推進機構
			繰出金	3,500,000	一般会計へ繰出し
			繰越金	8,651,634	平成19年度への繰越
	29,588,929			29,588,929	

### ●各市町村の募金実績

支 部 名	街頭募金	学校募金	家庭募金	企業募金	職場募金	そ の 他	合 計	前年実績
鳥 取 市	19,163	289,840	2,950,690	39,246	393,408	8,983	3,701,330	3,543,247
岩 美 町	18,484	25,806	718,030	0	119,800	1,049	883,169	863,558
八 頭 町	0	94,537	899,700	0	29,737	0	1,023,974	1,018,330
若 桜 町	0	31,466	267,891	7,044	514	0	306,915	304,669
智 頭 町	11,714	26,068	526,754	5,318	630	0	570,484	527,172
倉 吉 市	390,687	130,566	1,711,508		57,666		2,290,427	2,324,386
湯梨浜町	0	33,729	907,190	0	31,236	0	972,155	858,946
三 朝 町	0	24,420	357,653	0	13,925	0	395,998	384,190
北 栄 町	0	14,521	930,897	0	57,627	0	1,003,045	1,012,976
琴 浦 町	0	50,897	1,029,519	38,078	49,150	1,161	1,168,805	1,125,560
米 子 市	141,241	306,369	2,179,516	0	197,512	0	2,824,638	2,781,272
境 港 市	0	78,598	1,209,400	0	12,522	0	1,300,520	1,322,002
日吉津村	0	3,517	303,865	0	0	0	307,382	294,892
南 部 町	0	39,330	527,550	0	4,487	0	571,367	434,221
伯 耆 町	0	29,457	466,420	704	397	0	496,978	344,804
大 山 町	0	200,071	724,059	5,564	36,322	200	966,216	1,071,683
日 南 町	0	21,250	391,300	0	0	0	412,550	480,514
日 野 町	0	14,820	261,300	0	0	0	276,120	362,455
江 府 町	0	20,160	204,815	0	0	0	224,975	241,664
そ の 他	1,967	2,993	59,100	796,306	1,852,895	1,278,261	3,991,522	4,751,245
合 計	583,256	1,438,415	16,627,157	892,260	2,857,828	1,289,654	23,688,570	24,047,786

### ●企業・個人にて1万円以上の募金をいただきました

池内 実、イオン(株)、(株)一条工務店、(株)エコービジネス、NTT西日本、えびす本郷(株)、王子製紙(株)米子工場、(株)加藤紙店、岸本 豊、国際ソロプチミスト鳥取、三和商事(株)、三洋(株)山陰支社、千代電子システム、(株)タナカ、智頭急行(株)、(株)デコール、東郷工業団地、鳥取いなば農業協同組合、(株)鳥取県建設業協会西部支部、鳥取県産業環境協会、鳥取県山林樹苗協同組合、鳥取県石油協同組合、鳥取県造園建設業協会、鳥取県東部自動車学校、鳥取信用金庫、長石暢二、日刊建設工業新聞、日南振興(株)、日本海信販(株)、新日本海新聞社、山本紀彦、山根裕和、米子ガス(株)、米子信用金庫

### ●職場募金、募金箱の設置等で1万円以上の募金を頂きました

イオン(株)、(株)一条工務店、グットヒル、サイトウコンサルタント(株)、山陰合同銀行、三洋エプソンイメージングデバイス(株)、シャープ米子(株)、千代三洋工業(株)、鳥取三洋電機(株)、トスク各店、鳥取白バラ乳販(株)、鳥取トヨペット(株)、鳥取県造林公社、鳥取県東部森林組合、鳥取県中部森林組合、鳥取リコー(株)、中国電力(株)、ネスレベンディング、(独)緑資源機構鳥取水源林整備事務所、ユアーズ



## 学校環境緑化に取り組んで

### 湯梨浜町立羽合小学校

羽合小学校は、平成18年4月に開校し、今年2年目になる新設校です。羽合東小学校と羽合西小学校が統合した小学校で、児童数は500人を超える大規模校です。

#### 1 花を育てる

さて、統合前の緑化活動は環境委員会の児童が中心になって行ってきました。「花壇作りは土作りから」をモットーに秋に土作り（掘り返し、肥料入れ、土壌改良）をしたり、何も植えていなかった校地に花壇を新設したりしました。開校した昨年4月は、栽培委員会の児童が箱形プランターや丸型プランターに花の苗を植える活動から始めました。学校玄関入り口の両側をプランターの花で飾りました。花殻を取り除くこと、草を抜くこと、肥料をやること、水やりをすることなど花の世話を続けてきました。羽合小学校の子どもたちは、毎日登校時と下校時に花をみて生活しています。玄関は、ハワイアロハホールの東側にあり、道路に面しているため、地域の皆さんもみていただいています。



#### 2 花のプレゼント～地域社会にひろがる～

委員会活動をしていく中で、児童の中から「羽合小学校の周りの保育園に花をプレゼントしたい」という声が出てきました。統合前の羽合東小学校では、育てた花をPTA総会や学習発表会などの季節の行事の時に、学校を訪れたお客様にプレゼントしていました。花にメッセージを添えていたこともあり、地域の皆さんにとっても喜ばれている取り組みでした。こうした継続的な活動をしてきたことが花のプレゼントをしたいという気持ちにつながっていったようでした。橋津保育所、田後保育所、アロハ保育所、児童館などに届けました。



#### 3 地域とのつながりの中で



羽合小学校の保護者を中心とした「ホエホエ隊」というボランティアサークルがあります。保護者の方ばかりでなく羽合小学校の子どもたちも活動に参加しています。「ホエホエ隊」が春や秋の花の苗植えのための土作りや土入れなどの準備をしたり、子どもの手では難しい世話をしたりしていただいています。昨年は、学級園に掲示用の看板を取り付けてもらいました。定期的な活動ではないのですが、世話人の方の声かけによって学校の緑化活動を支えてもらっています。

開校1年目の昨年、花の苗を地域の方にいただくこともありました。「トウテイラン」という湯梨浜町の町花の苗を学校に寄贈してくださったので、栽培委員会の児童が世話をしています。

学校の花作り、作物作りを通して地域の方との交流が生まれてきています。



## 緑の募金交付金事業の紹介

### 公園緑化を実施して

岩戸公民館長 岩 崎 一

岩戸地区は、平成七年度に地域の景観をよくする為、この事業に参加しました。公民館運営委員と住民とで、海辺に近い公園「フレンドシップ」に大島桜を八本植えました。翌年、見事に桜が咲き、地区の住民の方々に喜んで頂きました。

また、「港の方まで植えて」「次はこっちに」といった住民の要望もあり、昨年まで五回程、三か所に植えました。

これからも、岩戸地区に桜を植え続け、親睦を楽しみながら、「地域の宝」として一生見守っていきたいと思っています。



### 平成18年度緑化事業の取り組み

北栄町みどり西団地自治会

前自治会長 藤 井 明 弘



みどり西団地の中央部を南北に、北側を東西に流れる水路が整備されましたが、つる草や雑草、ゴミが散乱し、年2回のクリーン作戦も効果なく、保育園や児童公園も隣接しており良好な環境保全が自治会の課題でした。

水辺によく合い、大きくなれば雑草も押える「あじさい」の植栽を決めました。財政難のため自治会員に苗木の提供と挿し木による苗づくりをお願いし数年計画とし、平成17年秋に苗木の提供を受け20本余りを植樹しました。

平成18年度は、緑の募金の緑化事業の助成を受け苗木60本を購入し、ひまわりクラブ会員（団地老人クラブ）10数名の協力で、当初は数年計画の「水辺の緑化事業」が、助成を受けた40本余りの苗木とあわせて2年で完成しました。

大きくなって一面に咲く「あじさいの花」を楽しみに除草や施肥を自治会員がボランティアで支えてくれます。

### 桜を囲んで地域交流につなげよう

緑の募金事業（地区緑化イベント）

伯耆町小町集落 代表者 妹尾 武晴

小町集落では、農業体験等を通して都市との様々な交流を推進しています。農村の風景や生活習慣、農業の実情等を都市住民に伝え、意見交換等を行っています。

平成15年頃から、このような交流活動に取り組んでいますが、集落の活性化に繋がっていきたくて考えています。

このような取り組みの中で、集落の集会所と隣接し交流の拠点となっている農村公園を、桜の咲き誇る憩いの場として利用できたらと考えました。

緑化推進委員会から支援を受け、集落内外から約20名が集い、植樹イベントを実施しました。あいにく当日は雨天でしたが、この植樹を通して、集落の緑化意識の向上や活性化が図られたと同時に、集落外の参加者との交流の輪がさらに広がったことが実感できました。





## 第53回鳥取県植樹祭の開催

第53回鳥取県植樹祭は、4月29日(日)に鳥取県、大山町及び本委員会の主催により、西伯郡大山町名和「名和スポーツランド」において、「つなげよう 緑と海と 人の輪を！」をテーマに開催されました。

快晴の中、県下各地からみどりの少年団や県民の皆様約1,200名の参加を得て盛大に開催されました。

式典は、みどりの少年団109名の入場行進で始まり、主催者あいさつ・来賓紹介に続いて緑化功労者の赤波川甌穴愛護会(鳥取市用瀬町) 森本満喜夫さん(倉吉市) 江原隆英さん(大山町) 森下巧さん(日南町) テーマ募集特選者の横野由実さん(八頭町)の表彰や大山小学校みどりの少年団及び漁業者中村隆行さん(大山町)の「森林・緑への想い」の発表などが行われました。

主催者、来賓等による代表植樹でケヤキ9本が植栽されたあと、参加者全員によりヒノキ、クヌギ、ケヤキ合わせて1,130本が植栽されました。

アトラクションは、オープニングが「大山僧兵太鼓」、エンディングが大山西小学校による「烏天狗ダンス」、坊領婦人会による「創作劇」、大山小学校による「森を守ろう！エヴァーグリーン」ダンスが上演され、参加者から盛んな拍手が贈られました。

本委員会は、参加記念品としてハナミズキ、キンモクセイの苗木を先着600名に無償配布し好評でした。



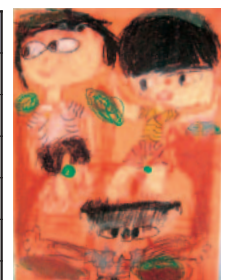
## 国土緑化・育樹運動ポスター原画コンクール

### 平成19年度用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画審査結果



田淵 隆志さん

	区 分	学 校 名	学年	氏 名
小学校の部	鳥取県知事賞	琴浦町立赤碕小学校	1	寺田ジョージ
	鳥取県教育委員会教育長賞	琴浦町立赤碕小学校	1	伊藤 萌乃
	社団法人鳥取県緑化推進委員会理事長賞	琴浦町立赤碕小学校	1	三谷 悠河
中学校の部	鳥取県知事賞	鳥取市立気高中学校	3	田淵 隆志
	鳥取県教育委員会教育長賞	鳥取市立気高中学校	2	米田 知代
	社団法人鳥取県緑化推進委員会理事長賞	鳥取市立気高中学校	3	田中 博之



寺田ジョージさん

### 平成20年用 国土緑化運動・育樹運動の標語募集

国土緑化運動の一環として、植樹及び森林・樹木の保護・育成の助長並びに一般の方々の緑化意識を高めるため、緑化に関するポスター等に使用する標語を募集します。

標語の内容：簡潔で語調がよく、国土緑化の意を表し、植樹及び森林・樹木の保護・育成又は環境緑化意欲の高揚を強調したものであって、創作に限ること。

応募方法：住所、氏名、職業(学校)、標語を記載のうえ当委員会へメール、ファックス又は葉書にて応募ください。

締め切り：平成19年9月28日(金)

その他：入賞作品の著作権は、社団法人国土緑化推進機構に帰属する。

国土緑化運動及び育樹運動ポスターに使用する作品については、必要に応じて修正を加えることがあります。

## 公募事業の募集について

### 平成19年の助成事業・交付金事業

事業名	事業内容	助成対象者	助成額
森林づくりの促進	対象地 森林（保安林、学校林、公共性の高い森林） 内 容 植林、下刈り等の森林の整備森林での林業体験等	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部 等	50万円以内
ボランティア活動の支援	森林ボランティア団体が森林整備活動を行うための経費の一部を助成する。	森林ボランティア団体	当該年度の予算の範囲内
地域緑化の推進	対象地 学校、公園、公共施設等 内 容 地域の緑化及び地区住民の緑化意識の高揚を図り、緑づくりを促進するためのイベントの開催	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部 等	5万円以上20万円以内
みどりの少年団活動推進	対象地 森林、学校、公園、公共施設等 内 容 通常のみどりの少年団活動に加えて実施する自然・森林・緑に関わる学習活動、野外活動、奉仕活動	みどりの少年団	5万円以上10万円以内
学校林等利活用促進	対象地 森林、学校、公園、公共施設等	学校、学校教育を支援する団体 等	5万円以上20万円以内
国際緑化等の協力	対象地 交流関係にある外国、県外の姉妹都市 内 容 樹木の植栽、保育等森林整備及び環境緑化の推進	市町村、各種団体 等	20万円以内
交付金事業（家庭募金等の5割を限度に還元）	対象地 森林、学校、公園、公共施設等 内 容 樹木の植栽、花木等の植栽、緑化関係のイベント、普及啓発活動 等	市町村、学校、各種団体、緑化推進委員会支部 等	市町村の決定額の範囲内
青少年・民間活動グループ育成	対象地 森林、学校、公園、公共施設等 内 容 森林・緑化に関する各種イベントやキャンペーンの実施	市町村、民間団体、緑化推進委員会支部 等	5万円か10万円の定額
農山村・都市の交流活動の推進	対象地 森林 内 容 農山村住民と都市住民の交流を目的とした森づくり活道や学習会の実施		20万円の定額
樹名板の設置	対象地 公園、学校等の公的な場所 内 容 県産材を活用した樹名板の設置	市町村 等	当該年度の予算の範囲内

●助成事業の実施を希望される団体・グループは当委員会又は各市町村支部（各市町村役場緑化担当課）へご相談ください。

## 新会員の紹介（平成18年度）

坪田2区B S管理組合 組合長 金田 要一

本年度より本会に参加し、組合の取り組み、活動について私自身の思いを一言申し上げます。

坪田2区B S管理組合も平成15年より緑化推進委員会の緑の募金活動で大変なご協力を頂きました。

太平記で有名な名和公の史跡「的石」置き場への桜・枝下梅・紅葉の植栽、県道余剰地への桜植栽、名和公の菩提寺「長綱寺」裏山の治山工事の記念としての桜の植栽とこれまで3回の事業を行ってきました。

今年度より花々が咲き誇り、地区はもとより地域での反響は大変なものであります。例年ですと花見に外へと出掛けるものですが、地区に花見の場所が出来ればいつでも地元で花見ができて、特に老人会の人には好評であります。

以前は、この様な緑化事業への助成事業があることすら知りませんでした。桜は元より木々の植栽が如何に大事なものの、特に昨今では地球温暖化が進み、皆が危惧するところであります。この時期、里山の緑を守ることが大切であります。松くい虫で荒廃している山などを、農業に後継者が足りない状況では以前の山に戻すことが大変な現状の中、先般鳥取市で里山の緑を取り戻す活動がテレビで紹介されていました。山々の緑が豊かな姿こそが神代の時代より、われわれが恩恵を受けて引き継いだ自然の財産であり、きれいな水、きれいな空気は次世代に是が非でも引き継ぎたい宝物であります。これらを引き継ぐためにも、緑化運動として「緑の募金」の更なる拡大、県民一人一人の参加を希望するものであります。

**坪田2区B S管理組合をはじめ下記の方々に、当委員会の会員となっていただきました。**

今後とも、緑豊かな潤いのある森林・緑づくりへのご協力をお願いします。

正 会 員 池内 実 井上耕介 安田信二 山本紀彦

賛助会員 (株)愛進堂、(株)一条工務店、(株)ジューケン、坪田2区B S管理組合、(株)デコール、(株)鳥取朝日広告社